

平成23年度 新潟県小学校教育研究会特別活動部
各郡市特別活動部会の活動状況報告

郡市名 糸魚川市

部長名 穂苅敬子（今井小学校）

1 特別活動の動向

(1) 郡市小学校教育研究会としての動向（部会、学習会、研修会など）

*糸魚川市は、小・中学校合同で糸魚川市教育研究会を組織している。

従って、特別活動部会も一緒である。

平成23年度の活動として、一斉研修日に授業研究会を下記の要領で実施した。

① 日時 11月16日（水）

② 内容 公開授業（学級会）と協議会

(ア)授業者 糸魚川東中学校 倉若拓人 教諭

(イ)活動名 深めよう『絆』1年1組プロジェクト

～深めよう『絆』スクール集会・合同道徳を受け、今自分たちにできること～

(ウ)概要 糸魚川東中学校は「人権教育総合推進地域事業」(H21.22.23年度)に取り組み、望ましい人間関係の基礎づくりを目的に、中学校区の6小学校6年生と中学校1年生による2泊3日の課題解決型の宿泊体験活動や小中合同の「深めよう『絆』(いじめ根絶)スクール集会」や合同道徳を実施している。

今回の授業は、それらの活動を受け、話し合い活動を通して、クラスの良いところ直したいところを直視し、よりよいクラスにするための実践的な態度や健全な生活態度を育てることをねらいとした活動である。

③ 協議会より

- ・学級の雰囲気、担任と生徒との関係が非常に良いことがうかがわれた。
- ・事前に「自学級の良いところ・課題等」のアンケートを印刷して生徒に配り、それに即して学級会が展開されていた。本音で意見が出されていた。また、司会者も全員から発言させようと努力していた。
- ・一貫して35人全員での話し合い活動であったが、「本来学級の課題解決であるので、一人ひとりに学級の一員としての意識をもたせるために、あえてグループごとに意見をまとめて・・・ということではなかった。」という担任の思いが参加者に強く伝わった。
- ・司会者が、話し合いの方向性を集約しきれず時間が過ぎる場面もあった。これは、小学校段階から話し合い活動や学級会活動などで身につけさせなければならない力の一つである。

(2) 郡市内の研究指定校や先進的な実践を行っている学校の紹介

平成23年度はありません。

2 特別活動の課題（運営上の課題、問題点、悩み、工夫点など）

・平成23年度の部員は8人[小学校（校長1、教頭2、教務主任1）中学校（教諭4）]である。

・昨年度の反省から、授業研究を実施することとなったが、学級担任の部員が中学校だけであり、授業公開を中学校に依頼せざるを得なかった。

*上越教育大学の橋本定男先生に指導をお願いした。当日は、新潟市立関谷小学校の研究発表会と重なりおいでいただけなかったが、授業者が、事前にゼミ会などに参加させていただき当日に臨んだ。

